

200506 関東の雷（カミナリ）と電磁波データについて<続き>

2020年5月6日の夕方から夜にかけて関東地方を雷雲が通過し 落雷が多く発生し、先日、ゆれくるんの逆ラジオによって 関東各地の観測点の雷発生によると思われる、同期した1本立ちデータをとらえた、として、ご報告しました。

その中で、同期データの見られない観測点、六本木、五反田、日光、八王子観測点について次のように書きました。

>

5月6日の雨雲は広く中部～関東にかかっており、多くの観測点で同期した1本立ちが見られたが その中で六本木、五反田、日光、八王子などのいくつかの観測点観測点は同様の同期データが見られない。この原因ははっきりしないが 各観測点の特有の設置状況によるものと推測されます。

>

しかし この件につき TADA地震火山予知研究所 多田様から なぜこれら4か所の観測点だけが カミナリ由来の電磁波ノイズを観測できなかったか、という理由をご指摘をいただきました。なかなか的確なご指摘なのでここに掲載させていただきます。

1、六本木以外の、五反田、日光、八王子の3か所で同期データが見られなかった件

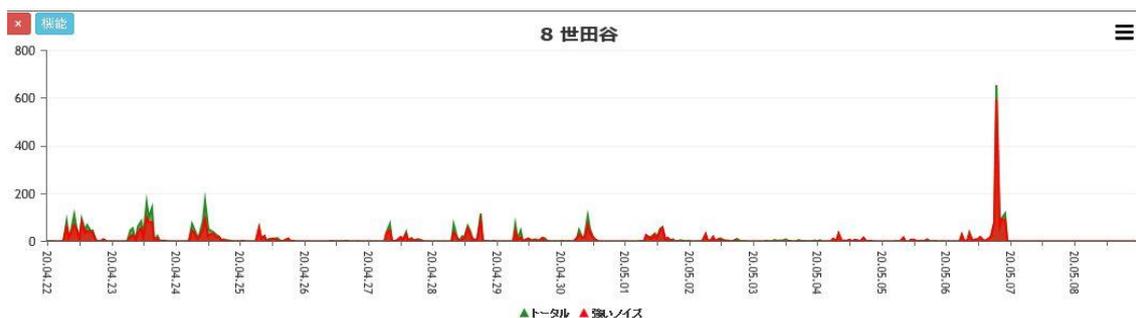
> (六本木) 以外はスケールの関係で、八王子などは地震予兆が大きすぎて

> 落雷の反応が隠れてしまっているのではないかと想定いたします。

> 地震予兆は落雷より強い電磁波（電気）を発生しているのではないかと思います。

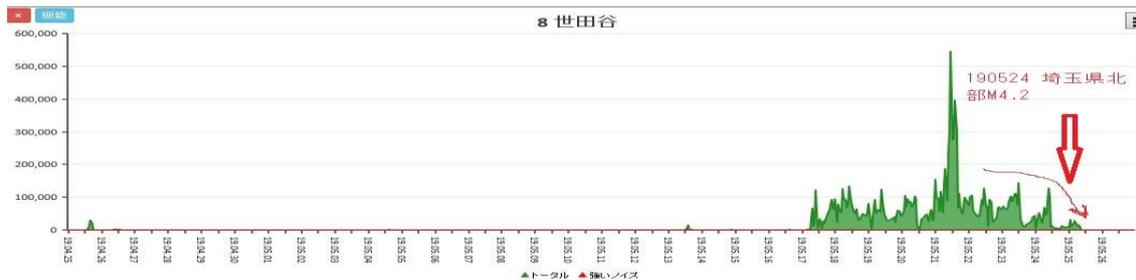
たしかに

5月6日の世田谷の（カミナリ）データ>MAX1時間あたりパルスノイズ800個



しかし 昨年（2019年）5月25日埼玉県北部 M4.2 の前兆

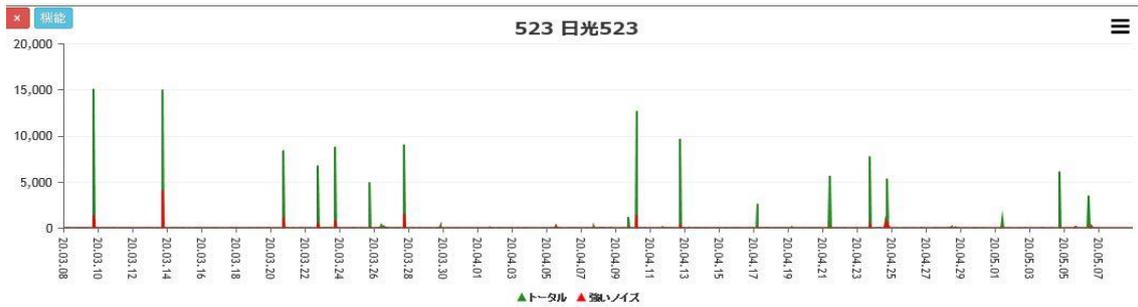
世田谷のMAX値が 60万個と 桁違いでした。



そこで一昨日のカミナリの同期した1本立ちのデータのMAX値は次の通り。

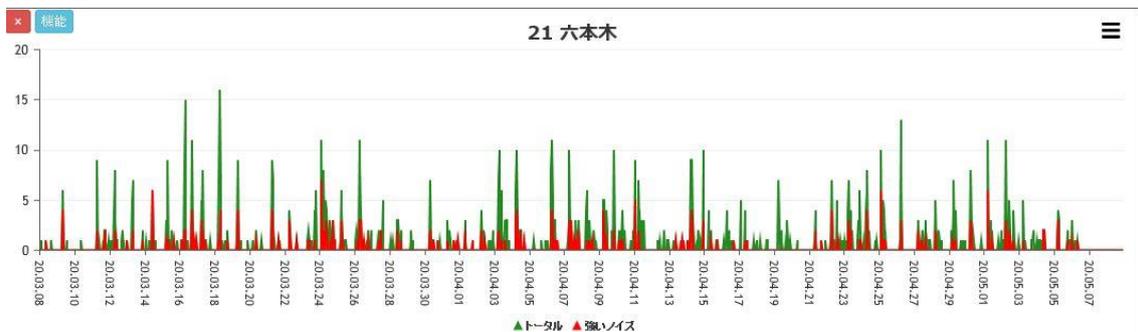
センター300、世田谷 800、練馬 1500、市川 800、酒々井 300、狭山 1500、大島 1500、前橋 50、という値でどこも時間あたり1万個には届いていません。さらに 関東以外でも 東伊豆 5000、御前崎 4000、岐阜大垣 40、豊橋 80、伊勢 D400 と 静岡の2か所が少し大きいだけ、しかしいずれも時間あたり1万個に届かないので 仮に地震の予兆としてはとても小さいものです。

しかし六本木以外で雷の同期データが出なかった3か所は 五反田で MAX 値が 40,000、日光 20,000、八王子 1500000 で、これらは普段のデータが桁違いに大きいので 今回のカミナリのデータは埋没してしまった、と言えると思います。



つまり通常は M4 クラスの中規模の地震の前兆でも 時間あたり数十万個のパルス性電磁波ノイズが出ますが カミナリではずっと小さいデータになります。従って カミナリ由来の電磁波ノイズは 地震の前兆のノイズとは全く大きさが違うことがわかりました。

2、つぎに 問題の六本木のデータですが MAX 値は なんと 20、こんなにデータが小さいのに しかもビルの11階の窓側に設置してあるのに カミナリのデータが取れていません。



これについて TADA地震火山予知研究所 多田様からは

>高層ビルの避雷針に落雷があっても、地中に電気が吸収されるためにデータが
>でないのではないかと

あるいは

>高層ビルには地下階があり、それより深い位置にアースを埋設すると考えられ、
>電気が地表を漂わないことから、ノイズを拾いにくくなってアンテナに影響が出ないと考えられる、とのこと。これには、なるほど、と思いました。

実は この六本木の観測点は ほかと違って なかなかわかりにくいデータが出ます。

2005年7月に東京直下震度5が来たときは 約20日前に時間あたり300万という大きなデータを出しました。

また2009年8月の東海沖M6.9と2日後のM6.6のときは約1年近く 大きなデータを観測してデータが収束してから地震が発生しました。

両方とも、ふだん100個も出ないデータが100万を超えたので故障ではないか?と なんとか装置を見に行っただけでよく覚えています。

六本木のデータが ふだんは小さいものしか出ないのは たしかに このビルの設備の関係があるのかもしれませんが。この件は そのうちに六本木の観測点の担当者にとって確認したいと思います。

今回、雷による電磁波データと地震の前兆データについて ご指摘いただいた TADA地震火山予知研究所 多田様に感謝致します。